

絵本『でんえんとしさとやまっ子』

(令和4年度「花博自然環境助成」対象事業)



里山と子どもをテーマに絵本を創りました。緑区新治町の田畑や森での最近の子どもたちの姿と50年以上前に青葉区青葉台に里山が残されていたころの様子をもとに、画家さんにステキな絵を画いていただきました。この絵本をもとにしたワークショップなどもおこなっています。

よこはま里山カルタプロジェクト

(令和4年度「花博自然環境助成」対象事業)



次の世代にも里山とかかわる楽しさや意義を伝えたい…里山につながるものごとや風景をカルタの読み札絵札に自由に表現する「よこはま里山カルタ」が完成しました。2月27日、蒔田小学校キッズクラブにてカルタ大会を開催。絵札を描いた22名中21名の子どもたちが参加しました。

受託事業

- 横浜市「森づくりボランティア体験事業業務委託」
- 横浜市「保育所・小中学校等ピオトープ整備等支援業務委託」
- 横浜市「道具の使い方研修・森づくり安全管理研修・入門講座企画実施業務委託」
- 横浜市「里地里山入門講座企画実施業務委託」
- (財)横浜市緑の協会「令和5年度根岸森林公園トンボ等調査委託」
- (財)横浜市緑の協会「トンボ池管理等業務委託」
- (財)横浜市緑の協会「野島公園ピオトープ環境改善業務委託」
- 横浜植木(株)「トンボとり大作戦開催業務」



Instagramより

ウェブサイト & ソーシャルメディア

最近、動きのあるInstagram、YouTubeに力を入れて情報を発信しています。Facebook、X(旧Twitter)も、ぼちぼちやっています。いいね、フォローをお願いします。

里山と暮らしをつなぐメールマガジン

毎月1日にメールマガジンを配信し続け、2023年12月には187号を迎えます。15年以上毎月欠かさず発行してきました。いつでも読者登録は大歓迎です。



メルマガ登録

委員・講演実績

- 委員
- ・ 神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会
- ・ 横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長
- ・ 横浜市地域まちづくり推進委員会ヨコハマ市民まち普請事部会専門委員
- ・ 神奈川県里地里山保全協議会構成員
- 講演等
- ・ 朝日地球会議2023「里山～自然と文化の交差点」パネリスト
- ・ 泉区区政推進課「つながる！地域活動ゼミ」講師
- ・ ちば里山カレッジ「拡げよう・つなげよう里山活動」講師・ファンリテーター
- ・ 横浜市環境教育出前講座



里山とかかわる暮らしを

特定非営利活動法人

よこはま里山研究所NORA

URL <https://nora-yokohama.org>

e-mail info@nora-yokohama.org



特定非営利活動法人

よこはま里山研究所 NORA

2023年活動報告

ロシアのウクライナ侵攻が長期化するなか、イスラエルによるガザ侵攻も始まり、毎日多くの命と暮らしが犠牲となっています。コロナ禍が落ち着いてきたものの、とても穏やかな気持ちではられません。また、原油高・物価高によって、多くの人びとの仕事や暮らしが厳しい状況に追い込まれています。このような状況でも、NORAは「里山とかかわる暮らし」を提案し、実践し続けています。「はまどま」では、2023年6月から2代目コーディネーターが入り、居場所づくり、担い手づくりをすすめています。多様な人びととともに、多様な自然と日常に関わることは、他人との対話、自然との対話、そして自分との対話を促します。平和をつくるためには、もっと世界に対話が必要だと信じています。



「間伐材を活かすGウッドワーク」スタート

森の保全活動の際に発生する間伐材を有効活用するため、昨年からグリーンウッドワーク事業を始めました。現在は活動を定例化するために、毎月第4日曜日に実施しています。刃物を扱ったことがない初心者から、すでに作品を製作したことのある経験者まで、関わりやすいプログラムを用意し、事業を継続して担える人材育成を目指しています。

国土緑化推進機構の「緑の募金」の支援を受けています。使用した「緑の募金」は、ENEOS株式会社からの寄付によるものです。